

○日時 平成28年7月20日（水）14:00～15:30

○場所 島根県松江市 島根県民会館 第2多目的ホール

○出席者 以下のとおり（委員のみ記載）

米子市長（代理：総務部長）  
境港市長（代理：副市長）  
松江市長  
安来市長（代理：副市長）  
鳥取県 危機管理局長  
鳥取県 西部総合事務所米子県土整備局長  
島根県 防災部長  
島根県 松江県土整備事務所長  
気象庁 松江地方気象台長  
国土交通省 中国地方整備局 出雲河川事務所長

○挨拶 出雲河川事務所長

○議事

- (1) 規約（案）の確認
- (2) 「水防災意識社会 再構築ビジョン」に基づく取組について
- (3) 現状の水害リスク情報や取組状況の共有
- (4) 減災のための目標（案）について
- (5) 今後の進め方（案）

○規約について、委員の賛同を頂いた。

○目標について、委員の賛同を頂いた。

なお、具体的な取り組み内容については引き続き幹事会で検討する。

○今後の進め方について、委員の賛同を頂いた。

#### 【松江市長】

想定最大規模の降雨による浸水想定区域図が公表されたが、中海においては、想定最大規模の高潮による浸水想定区域も示してほしい。想定最大規模の高潮浸水想定 of 検討にあたっては、想定最大規模の洪水を組み合わせる方が住民にはわかりやすいのではないかと。

**【出雲河川事務所長】**

中海の想定最大規模の高潮浸水想定については、国で検討していきたい。ただし、想定最大規模の洪水と想定最大規模の高潮が同時生起する確率は小さいことから、洪水は計画規模を与えるのが基本的な考え方である。今後、中海の高潮現象の特性も考えながら条件を検討していきたい。

**【松江市長】**

中海だけではなく、内水や県管理河川の氾濫を組み合わせる必要がある。

**【島根県 松江県土整備事務所長】**

県管理河川についても、想定最大規模の降雨による浸水想定 of 検討を進めており、今年から地形測量を行っている。

**【鳥取県 西部総合事務所米子県土整備局長】**

中海に流入する県管理河川としては、加茂川と旧加茂川があるが、できるだけ早く検討を進めたい。

**【松江市長】**

干拓堤防道路が冠水した場合、大根島（八束町）は孤立してしまうため、対応の検討が必要である。

**【島根県 松江県土整備事務所長】**

必要に応じて対応を検討していく。

**【松江市長】**

中海の排水樋門は高潮と内水を勘案しながら操作する必要があり、難しいと考える。操作は地元住民が行っているため、操作に関する研修が必要ではないか。

**【出雲河川事務所】**

操作の説明については現在も行っているが、ご意見も踏まえ、取組方針をまとめるにあたり検討していく。

**【松江市長】**

中海の水位が上昇すると排水ができなくなるため、排水ポンプの設置や排水ポンプ車の派遣が必要となる。

**【出雲河川事務所】**

出雲河川事務所に排水ポンプ車を配置しており、過去にも自治体の出動要請に応じて排水作業を行っている。必要があれば要請頂きたい。

**【安来市長（代理）】**

ハード整備について、河川整備計画と今回の取り組みの関係性を教えてほしい。また、内水対策は市で考えるべきことであるが、基準は計画規模ということになるのか。

**【出雲河川事務所長】**

今回の取り組みにおいても、ハード整備としては河川整備計画で位置付けているメニューを進めていくことになる。内水に対しても計画規模に対する整備が基本と考えるが、排水ポンプも段階的に整備を行うことになるため、想定される浸水に対して確実に機能を発揮するために耐水化対策を考えることなどは重要。基本的には、計画規模を超える洪水等に対しては減災のためにソフト対策を充実させる考え方である。

**【鳥取県 危機管理局長】**

中海は、氾濫注意水位、避難判断水位、氾濫危険水位がいずれも0.9mとなっており、タイムラインの作成が難しい。

**【出雲河川事務所】**

タイムラインについては、関係機関とよく連携して作成していきたい。

**【境港市長（代理）】**

当市では、今年度、津波ハザードマップを改正する計画があるが、これに想定最大規模降雨の浸水想定を組み合わせるべきか。

**【出雲河川事務所長】**

各自治体で十分に検討して頂く必要があるが、自治体によっては津波と洪水のハザードマップを組み合わせるケースもある。

**【鳥取県 危機管理局長】**

住民の理解を深めるために、中海の災害特性等を行政側がきちんと説明できることが重要であり、市に対するアドバイザーの育成も必要と考えるので、取り組み内容に入れてもらいたい。また、住民への教育という取り組みについては、水害教育という表現ではなく、住民も参加するようなイメージになる表現が良いのではないかと。